

# 制度変更で混乱のないように

町長 丁寧に説明したい



池田 幸恵 議員



適度な運動でいつまでも若く

【池田】小地域保健福祉活動は、「輝くシルバー交付金」事業となると、対象年齢がこれまでの65歳以上から75歳以上となる。65〜74歳はどう考えるか。

【町長】対象年齢は交付金算定の積算上であり、実際に集落等にて取り組んでもらう際の対象者としては、集落にて検討してほしい。

【池田】今後、75歳以上の人口が増加する。今から75歳以下の人の介護予防も充実させるべきではないか。

【町長】他事業で介護予防の充実をはかりたい。

【池田】制度改正にあたって、区長・地域自主組織へ、たびたび変更の通知があった。不安のないようにしてもらいたい。

【町長】説明が足りないとところもあったと思うが、その都度説明してきた。イメージは、集落での共助を高めるということ。

敬老事業の集落での実施が難しいところは、地域自主組織で取り組んでほしい。

# 100年に一度のチャンスを活かせ

町長 国・県の動きを活用する



大杖 正彦 議員

【大杖】人口減少・少子高齢化時代を迎え、国は日本の美しい自然や文化遺産を活用し、観光で国を豊かにする。観光立国を訴えている。

本町は美しい自然と歴史に恵まれ、開山1300年という歴史的イヤーにあわせ、全国イベント「山の日」記念全国大会が開催される。本町の名を広めることができ多くの観光客を呼び込むチャンスである。この絶好の機会をどうとらえ、生かそうと考えるか。

【町長】県や周辺市町



にぎわいプロジェクトの切り札

村が構成メンバーの開山1300年祭実行委員会と意思統一をはかり、「山の日」全国大会では国とも連携し「国立公園満喫プロジェクト」などの動きを活用しながら気持ちを一つにして取り組む。

【大杖】SNSを活用した情報発信とか、町民主役のやり方があると思うが。

【町長】地域の歴史・自然文化あるいは食を掘り起こしていきたい。教育委員会が取り組む「大山検定」もその一つだ。

定例会  
質疑・討合  
特別委員会・審議結果  
委員会報告  
臨時議会